

Excel 出力設定

1. Excel 出力	2
1-1. Expage ランタイム概要	2
1-2. Excel バージョン	2
1-3. Excel ブック	2
1-4. Excel 機能制限	2
1-5. 資源ファイル作成と実行手順	2
2. Excel テンプレート	7
2-1. 変数定義：セルの文字列	7
2-2. 変数定義：図形内の文字列	9
2-3. 変数定義：画像	9
2-4. 変数定義：グラフ	10
2-5. 変数定義：テーブル	12
2-6. Excel テンプレートの制限	18
3. 帳票種別	19
3-1. 改ページ	19
3-2. マルチフォーム	21
3-3. マルチデータソース	26
4. Excel プロパティ設定	27
4-1. 概要	27
4-2. 設定方法	27

1. Excel 出力

1-1. Expage ランタイム概要

Expage ランタイムは、Excel で設計した帳票テンプレートに、データソースから取得したデータをテンプレート上に定義した変数に設定して、Excel ファイルを出力するランタイム製品です。

1-2. Excel バージョン

帳票テンプレートとして使用できる Excel は以下のバージョンで作成されたものに限りません。

Microsoft Excel 2010/2013/2016/2019

※ Microsoft Office 365、Microsoft Office Mobile は動作保証外です。

1-3. Excel ブック

帳票テンプレートとして使用できる Excel は、以下のものに限りません。

拡張子が .xlsx / .xlsm の Excel ブック

1-4. Excel 機能制限

帳票テンプレート内で使用できる Excel の機能は以下の通りです。

セル

図形

画像

グラフ

テーブル

これらの機能は、変数として定義することで、データソースから取得したデータを出力することができます。変数の定義方法は「2. Excel テンプレート」をご覧ください。

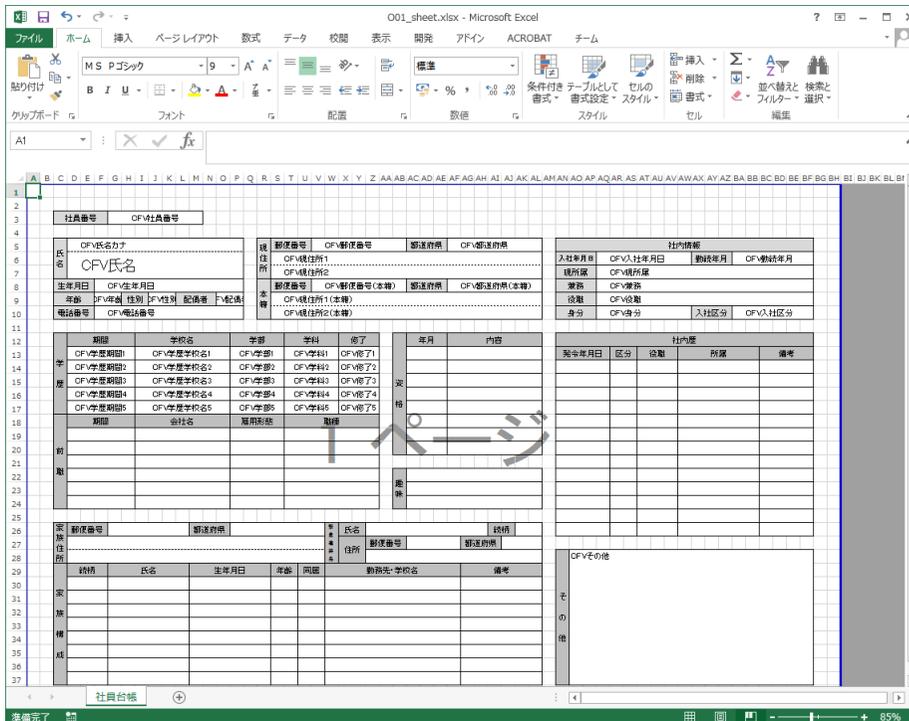
1-5. 資源ファイル作成と実行手順

Expage ランタイムでは、Expage ランタイム用に資源ファイルを作成する必要があります。作成手順は以下の通りです。（完成版の資源ファイルは、“帳票資源フォルダ ¥sample¥15_Excel 帳票” に保存されています。）

① Excel テンプレートの用意

Excel ファイルに帳票テンプレートとなるシートを作成します。

図：Excel シート上での帳票設計



変数の定義方法は「2. Excel テンプレート」をご覧ください。

作成した Excel ファイルは、作業ディレクトリ内の form フォルダ内に配置してください。

②ジョブの新規作成

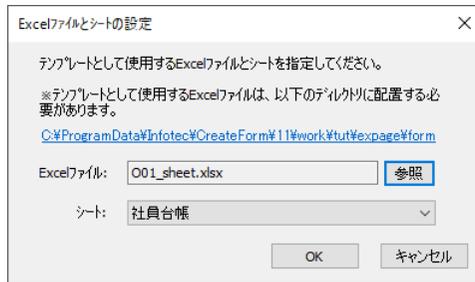
マネージャのツールボタン [新規作成] をクリックして、ジョブの新規作成ダイアログを開きます。

図：ジョブの新規作成ダイアログ

[帳票名]、[ジョブファイル名] を入力します。

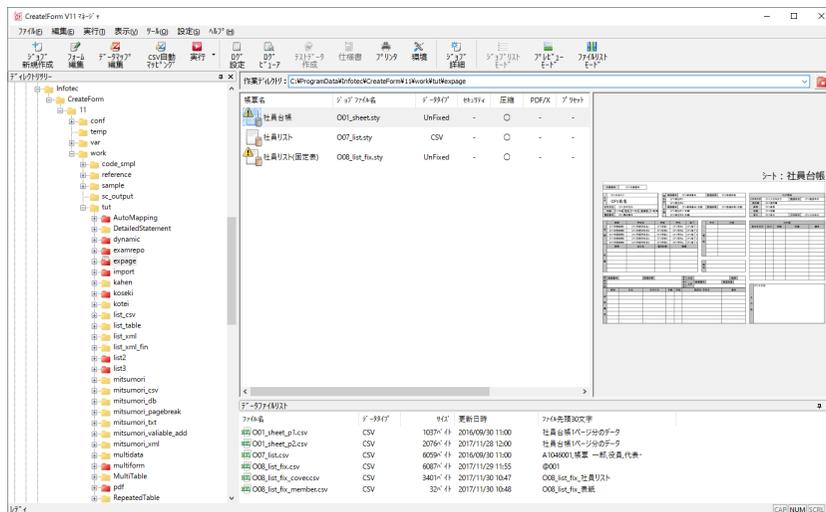
[フォームタイプ] で [Excel テンプレート] を選択して、[OK] ボタンをクリックすると、「Excel ファイルとシートの設定」ダイアログが起動します。

図：Excel ファイルとシートの設定ダイアログ



テンプレートとして使用する Excel ファイルを、[Excel ファイル] に設定します。[シート] 欄に Excel ファイル内のシート名が一覧表示されますので、テンプレートとして使用するシートを選択します。[OK] ボタンをクリックすると、マネージャ上に作成された資源ファイルが表示されます。

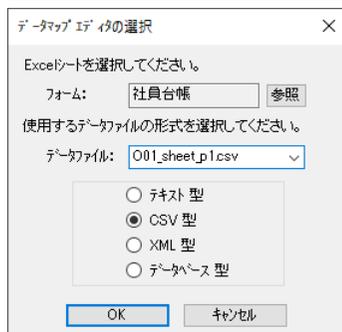
図：マネージャ - ジョブ新規作成後



③ マッピング

マネージャ上のジョブとデータファイルリストの”001_sheet_p1.csv” が選択された状態で、ツールボタン [データマップ編集] をクリックします。

図：データマップエディタの選択ダイアログ



[フォームファイル]と[データファイル]が設定されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックしてください。

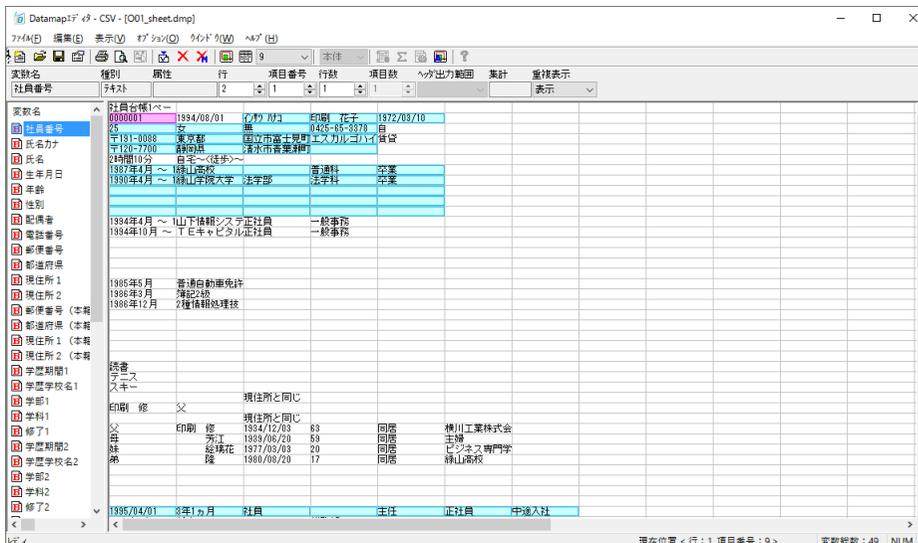
データマップエディタが起動し、[変数名] リストにExcelシートに定義した変数名が表示されます。

図：データマップエディタ



変数を出力したいデータにマッピングします。マッピング方法は、「データマップエディタの操作」をご覧ください。

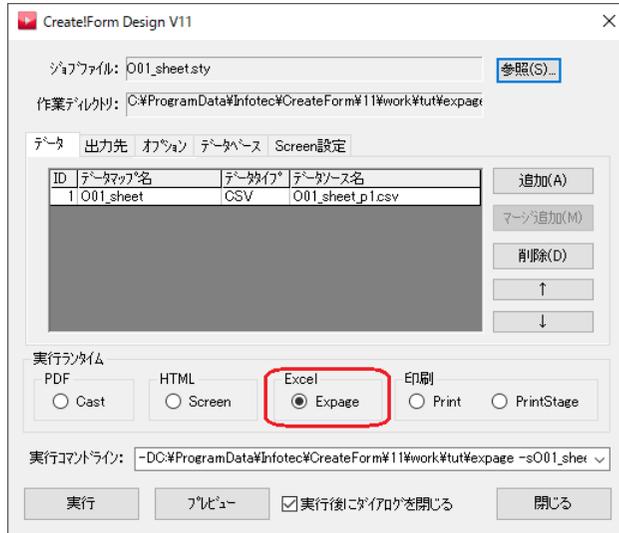
図：データマップエディタ - マッピング後



④ テスト実行

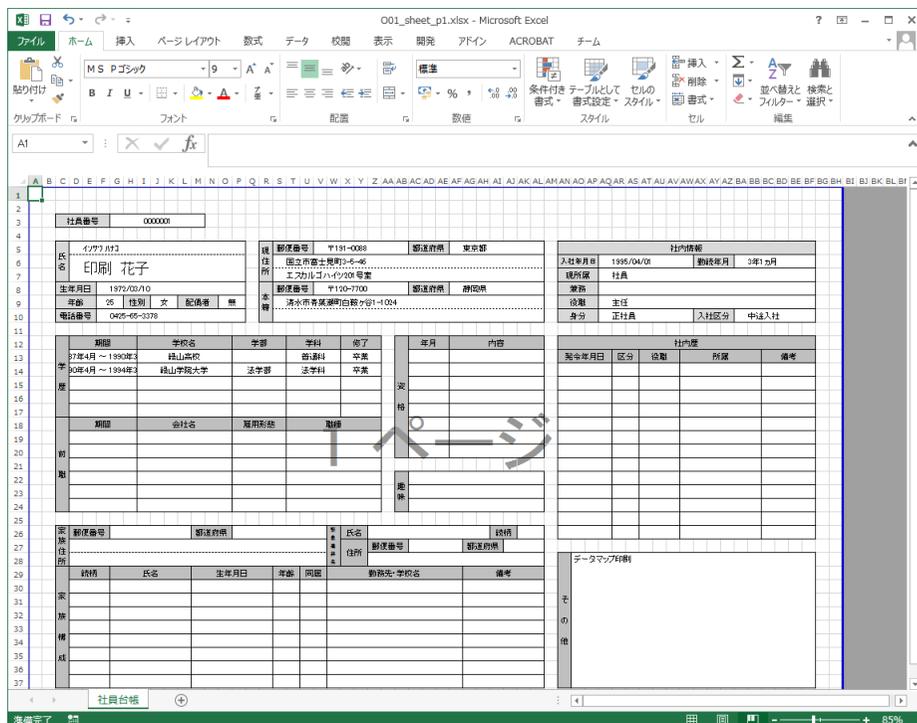
マネージャ上のジョブとデータファイルを選択した状態で、ツールボタン[実行]をクリックすると、実行ダイアログが起動します。

図：実行ダイアログ



[実行ランタイム]の[Expage]を選択して、[プレビュー]ボタンをクリックします。
Excel が起動し、出力された帳票が表示されます。

図：出力結果



<< 注意 >>

Expage ランタイム用に作成した資源ファイル（ジョブの新規作成ダイアログで [フォームタイプ] を [Excel テンプレート] に設定した資源ファイル）は、他のランタイムで使用することはできません。また、ジョブの新規作成ダイアログで [フォームタイプ] を [フォームファイル] に設定した資源ファイルは、Expage ランタイムでは使用できません。

2. Excel テンプレート

Expage ランタイム用の帳票設計は、Excel ファイルのシート上で行います。テンプレートとして使用するシート内には、以下の Excel 機能を Expage の変数として扱うことができます。

- セル
- 図形
- 画像
- グラフ
- テーブル

各機能を変数として定義する方法は以下の通りです。

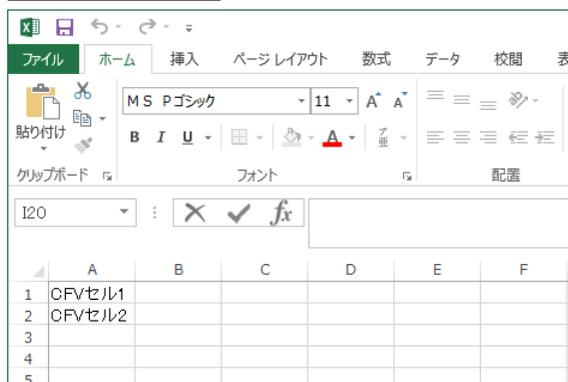
2-1. 変数定義：セルの文字列

Excel テンプレート上のセルに、入力データから取得した文字列を出力することができます。セルを変数として定義するには、文字列として

CFV 変数名

を設定してください。(固定文字列「CFV」の後に変数名を続けます。)

図：セルの変数定義例

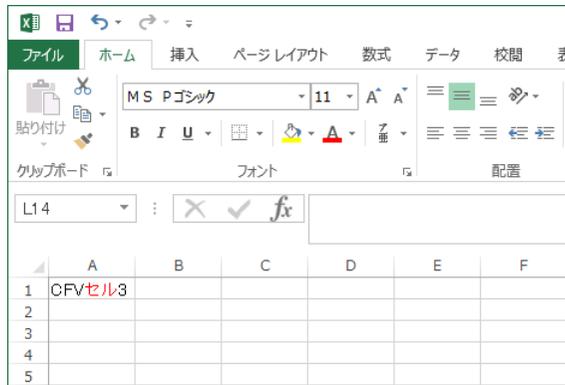


上の図では、「セル1」「セル2」という2つの変数が定義されます。

セル変数に設定されたフォントやカラーなどの書式設定は、そのまま出力されます。

ただし、セル内の文字列の一部のみ書式を変更した場合には、変数として扱うことはできません。

図：一部の文字に対して書式を変更した例

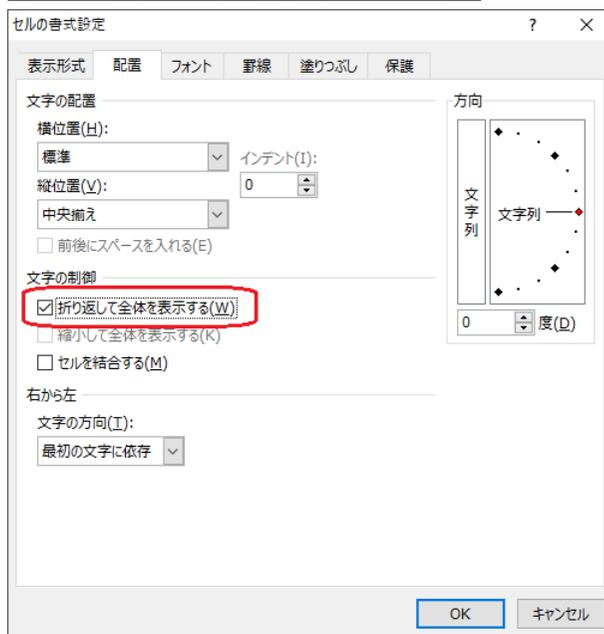


上図では、「セル」の部分だけフォント色を変更しているため、変数と判断されません。

■複数行マッピング

セル変数に複数行のマッピングデータを出力する場合は、Excel テンプレート上のセルの書式設定で「折り返して全体を表示する」を設定してください。

図：セルの書式設定ダイアログ (Excel2013 の例)



■表示形式

- セル変数に表示形式（数値や通貨など）を設定することは可能です。ただし、日付または時刻を設定する場合は、入力データをシリアル値にする必要があります。
- マッピングしたデータをもとにグラフや小計付きテーブルを出力する場合、セルの表示形式を数値に設定してください。

2-2. 変数定義：図形内の文字列

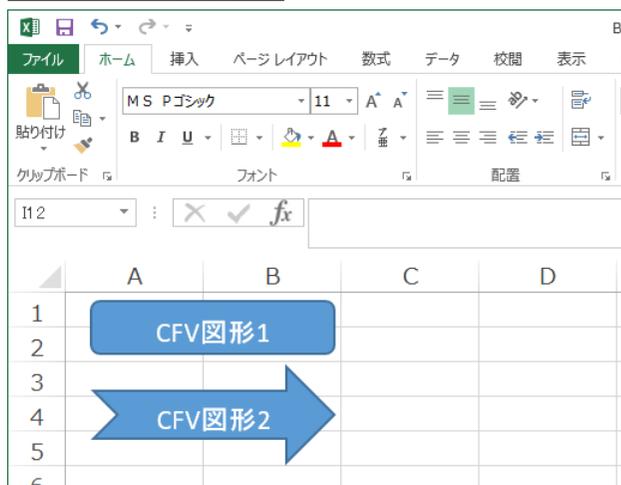
Excel テンプレート上の図形内の文字列に、入力データから取得した文字列を出力することができます。

図形内の文字列を変数として定義するには、文字列として

CFV 変数名

を設定してください。（固定文字列「CFV」の後に変数名を続けます。）

図：図形文字列の変数定義例



上の図では、「図形 1」「図形 2」という 2 つの変数が定義されます。

<< 注意 >>

Expage ランタイムの出力では、図形のサイズは変更されません。入力データ量によっては、図形内に収まらない場合があります。

2-3. 変数定義：画像

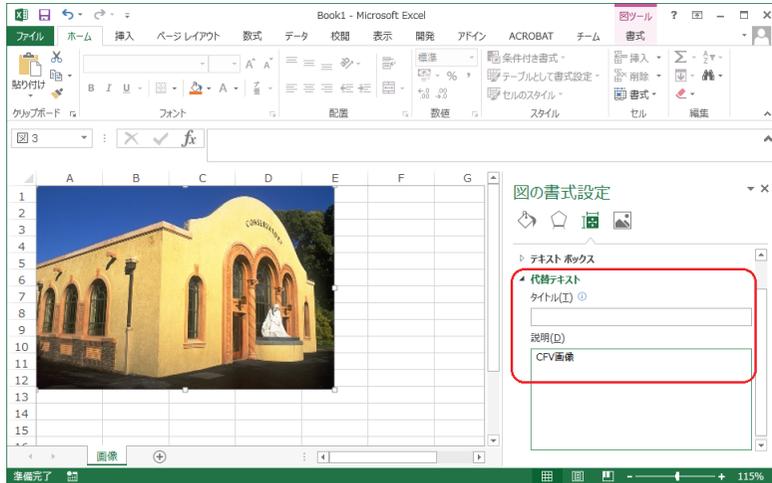
Excel テンプレート上の画像を、入力データで指定した画像ファイルに置き換えて出力することができます。

画像を変数として定義するには、図形の書式設定で代替テキスト（Excel2013 以降の場合、説明欄）に

CFV 変数名

を設定してください。（固定文字列「CFV」の後に変数名を続けます。）

図：画像の変数定義例（Excel2013の例）



■ 画像変数で出力可能な画像種別

画像変数で出力可能なフォーマットは以下の通りです。

- ・ BMP ファイル
- ・ TIFF ファイル
- ・ JPEG ファイル

なお、入力データによって指定する画像ファイルのフォーマットは、Excel テンプレート上で配置する画像ファイルと同じフォーマットのみ可能です。

■ 画像の書式設定の制限

Excel テンプレートの画像変数に設定された書式は、そのまま出力されます。

ただし、以下の設定をした画像は変数として出力できません。

- ・ アート効果
- ・ 図の修正（シャープネス、明るさ、コントラスト）
- ・ 図の色（彩度、トーン）
- ・ 透明色を指定

2-4. 変数定義：グラフ

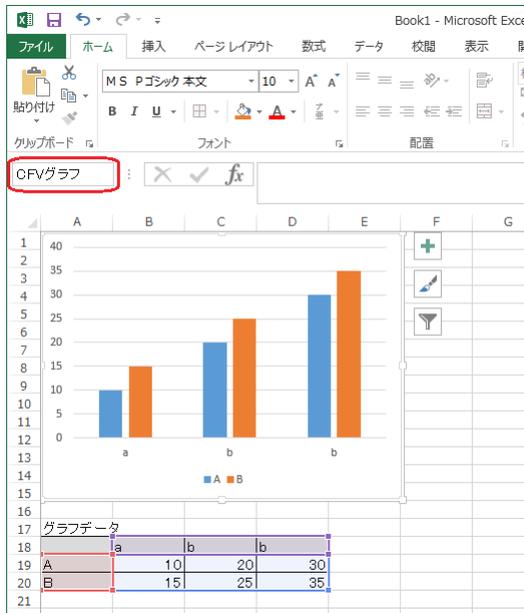
Excel テンプレート上のグラフデータに、入力データから取得したデータを出力し、グラフ描画へ反映させることができます。

グラフを変数として定義するには、名前ボックスに

CFV 変数名

を設定してください。（固定文字列「CFV」の後に変数名を続けます。）

図：グラフの変数定義例（Excel2013 の例）



グラフのデータ範囲内のすべてのセルには、サンプルとなる文字列または数値（データソース）を必ず設定してください。プロットエリアには、数値を設定してください。データソースが設定されていないセルは、ダミーデータが出力されます。

■ グラフのデータ範囲

グラフに使用できるデータは、同一シート内のみに限ります。

■ グラフのマッピングデータ

グラフ変数にはマッピングされた入力データが、グラフのデータ範囲セルに出力され、その値がグラフに反映されます。

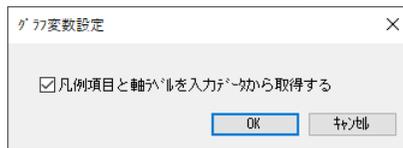
なお、グラフの凡例と項目を入力データから取得したい場合には、凡例と項目も含めてグラフ変数としてマッピングしてください。

図：グラフの凡例と項目を含めてマッピング

実数名	種別	属性	行	項目番号	行数	項目数	ヘッダ出力範囲	集計	重複表示
りんご	グラフ		1	1	3	4			
みかん	グラフ		2	2	3	4			

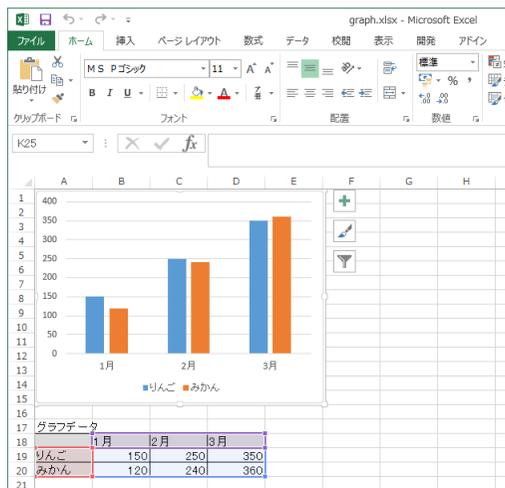
また、凡例と項目を含めてマッピングする場合には、グラフ変数を選択した状態で右クリックメニューの [グラフ変数設定] をクリックします。グラフ変数設定ダイアログが起動しますので、[凡例項目と軸ラベルを入力データから取得する] にチェックを入れてください。

図：グラフ変数設定ダイアログ



以下のような出力結果になります。

図：グラフの凡例と項目を入力データから取得した場合の出力結果



<< 注意 >>

グラフ変数が参照するセルに関数（数式）が設定されている場合、そのセルに対してデータマップエディタによるマッピングはできません。

2-5. 変数定義：テーブル

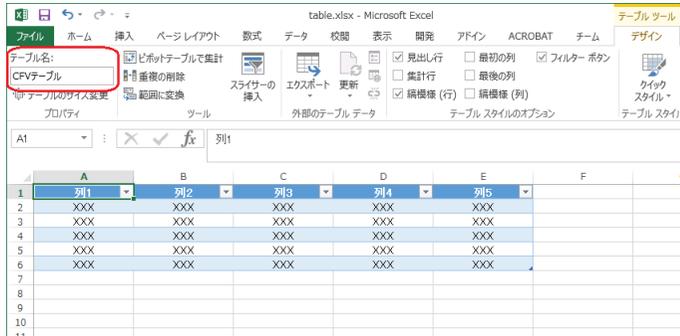
Excel テンプレート上のテーブルに、入力データから取得したデータを出力することができません。また、入力データ量に応じて、テーブルサイズを伸長することもできます。

テーブルを変数として定義するには、テーブル名に

CFV 変数名

を設定してください。（固定文字列「CFV」の後に変数名を続けます。）

図：テーブルの変数定義例 (Excel 2013 の例)

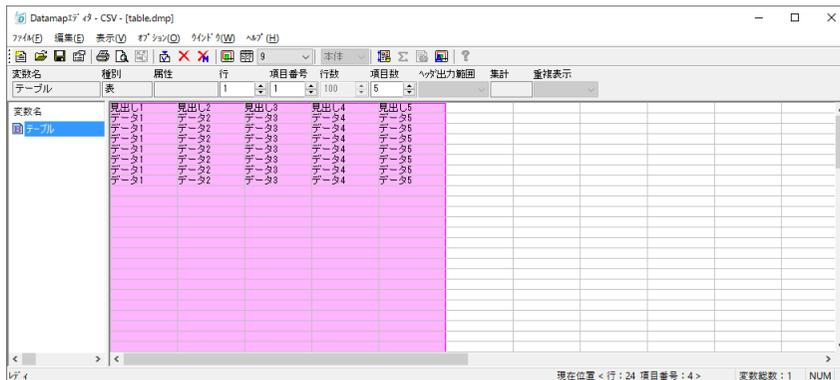


なお、テーブル変数内のすべてのセルには、サンプルとなる文字列または数値を必ず設定してください。集計など計算を行う場合は、数値を設定してください。

■ テーブルのマッピングデータ

テーブル変数にはデータ行と見出し行に入力データを出力することができます。

図：テーブルの見出し行を含めてマッピング



見出し行を含めてマッピングする場合には、テーブル変数を選択した状態で右クリックメニューの [表オブジェクト詳細マッピング] をクリックします。表オブジェクト詳細マッピングダイアログが起動しますので、[先頭行を見出しに使用] にチェックを入れてください。

図：表オブジェクト詳細マッピングダイアログ



[先頭行を見出しに使用] を設定することで、テーブル変数にマッピングしたデータの 1 行目を見出し行に出力することができます。

出力結果は以下のようになります。

図：テーブルの見出し行を入力データから取得した場合の出力結果

見出し1	見出し2	見出し3	見出し4	見出し5
データ1	データ2	データ3	データ4	データ5
データ1	データ2	データ3	データ4	データ5
データ1	データ2	データ3	データ4	データ5
データ1	データ2	データ3	データ4	データ5
データ1	データ2	データ3	データ4	データ5
データ1	データ2	データ3	データ4	データ5
データ1	データ2	データ3	データ4	データ5

■テーブルの最小サイズ

テーブル変数は、入力データの行数によってテーブルサイズが下方方向に伸長します。ただし、Excel テンプレート上で定義したテーブルサイズよりも入力データ行数が少ない場合には、テーブルサイズが小さくなることはなく、空の行として出力されます。

図：テーブルの定義サイズより入力データ行数が少ない場合の出力結果

見出し1	見出し2	見出し3	見出し4	見出し5
データ1	データ2	データ3	データ4	データ5
データ1	データ2	データ3	データ4	データ5
データ1	データ2	データ3	データ4	データ5
データ1	データ2	データ3	データ4	データ5

■テーブル変数使用時の制限

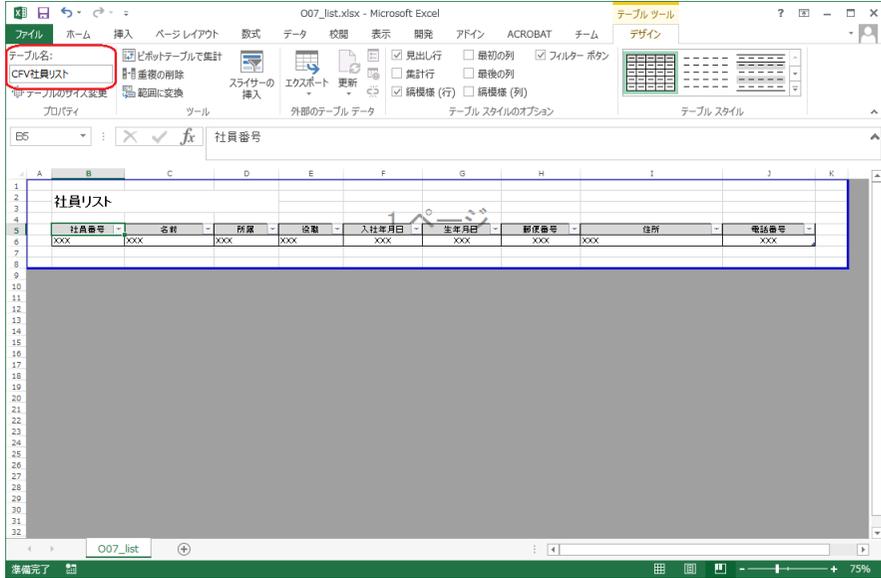
テーブル変数は入力データ行数に応じて下方方向に伸長します。そのため、テーブル変数の下に帳票のデザイン（画像や図形などのオブジェクトの配置、セルの結合や計算の設定など）をすることはできません。

■テーブル変数使用時の印刷範囲

テーブル変数が入力データ量に応じて伸長した場合、シートの印刷範囲も追加行数分だけ広がります。

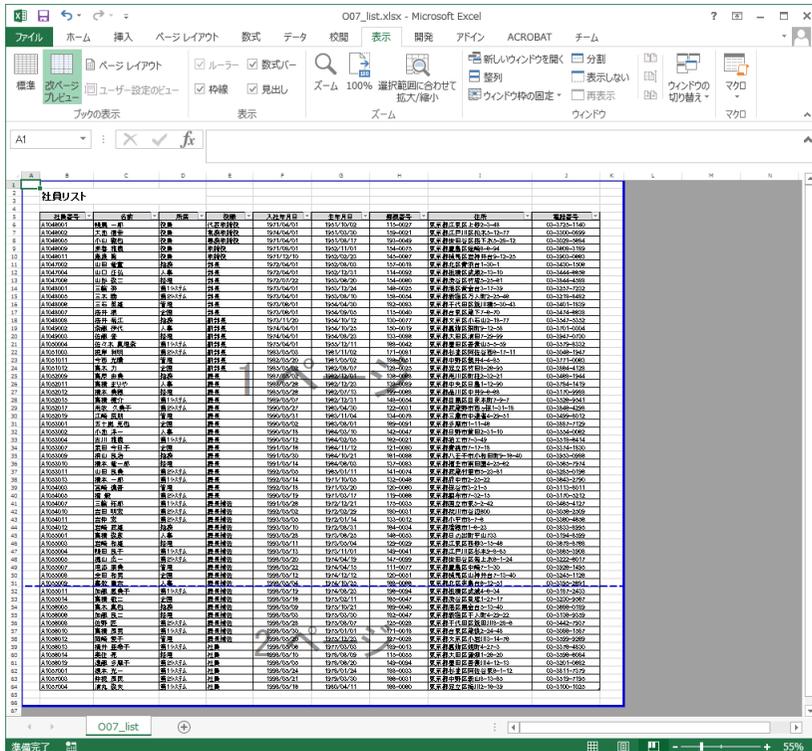
次ページの図のように Excel テンプレートにテーブル変数を定義し、印刷領域を設定します。

図：印刷領域の設定



入力データ量に応じてテーブルが伸長した場合の出力結果は以下の様になります。

図：印刷領域の拡張



(完成版の資源ファイルは、"帳票資源フォルダ¥sample¥15_Excel 帳票"に保存されています。)

■テーブル変数における関数の設定方法

Excel テンプレートのテーブル変数に関数を設定することによって、出力ファイルのテーブルでも関数を使用することができます。

Excel テンプレートに関数のオートコレクトを有効にした状態で関数を設定する、または同じ行のセルを参照する関数を設定し Expage ランタイムを実行した場合、テーブル変数の伸長によって追加された行には、追加行数に応じて参照するセルが更新された関数が設定されます。

図：オートコレクト有効時の出力結果

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		単価	個数	合計金額		D列に設定している関数	
3		100	5	=B3*C3		=B3*C3	
4		150	10	1500		=B4*C4	
5		200	10	2000		=B5*C5	
6		300	5	1500		=B6*C6	追加行
7		250	10	2500		=B7*C7	
8							

図：同一行セル参照時の出力結果

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		単価	個数	合計金額		D列に設定している関数		
3		100	5	=[@単価]*[@個数]		=[@単価]*[@個数]		
4		150	10	1500		=[@単価]*[@個数]		
5		200	10	2000		=[@単価]*[@個数]		
6		300	5	1500		=[@単価]*[@個数]	追加行	
7		250	10	2500		=[@単価]*[@個数]		
8								

関数のオートコレクト無効、または行ごとに異なる関数を設定し Expage ランタイムを実行した場合、テーブル変数の伸長によって追加された行には、1 行目の関数で参照しているセルと同じセルを参照する関数が設定されます。

図：オートコレクト無効時の出力結果

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		単価	個数	合計金額		D列に設定している関数		
3		100	5	500		=B3*C3		
4		150	10	2000		=B3*C3+D3		
5		200	10	4500		=B3*C3+D3+D4		
6		300	5	500		=B3*C3		追加行
7		250	10	500		=B3*C3		
8								

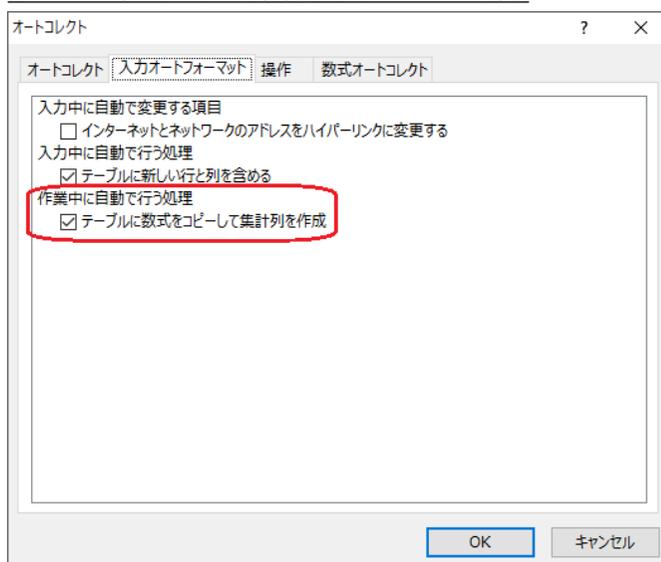
追加行数に応じて数式内で参照するセルが変化する関数を使用する場合は、関数のオートコレクトを有効にした状態で関数を設定、または同じ行のセルを参照する関数を設定してください。

<<Tips>>

関数のオートコレクトを有効にするには、

[Excel のメニュー]-[ファイル]-[オプション]-[文章校正]-[オートコレクトのオプション]-[入力オートフォーマット]-[作業中に自動で行う処理]-[テーブル変数に数式をコピーして集計列を作成]にチェックを入れてください。

図：Excel オートコレクト設定画面 (Excel2013 の例)

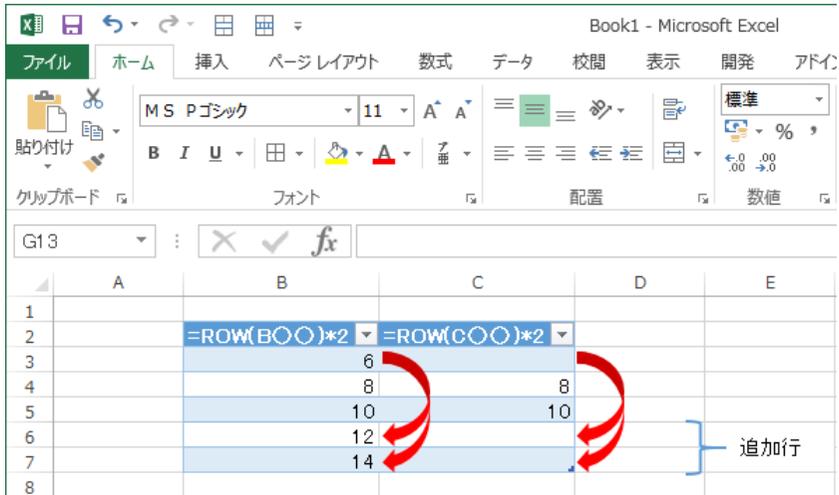


■テーブル変数における関数の制限

テーブル変数における関数の使用には、以下の制限があります。

- ・ テーブル変数が入力データ量に応じて伸長した場合、追加された行にはテーブル変数の1行目の関数が設定されます。テーブル変数の1行目に関数が設定されていない場合、追加された行に関数は設定されません。

図：テーブル伸長時、1行目の関数を設定



- ・ テーブル変数の関数が設定された列にデータマップエディタによって入力データをマッピングした場合、出力ファイルのテーブルには入力データではなく関数が設定されます。入力データを出力したい場合は、Excel テンプレートの該当列から関数を削除してください。

2-6. Excel テンプレートの制限

Excel で設計する帳票テンプレートには、以下の制限があります。

- ・ 1シート内に定義できる変数の数：999個まで
- ・ 変数名の文字数：127文字まで
- ・ 同名変数：同一シート内に同名変数を定義することはできません
- ・ 1シート内に定義できるテーブル変数の数：1個
- ・ 計算の元データなど、数値として値をマッピングしたい場合は、あらかじめセルの書式設定で数値として設定してください

3. 帳票種別

3-1. 改ページ

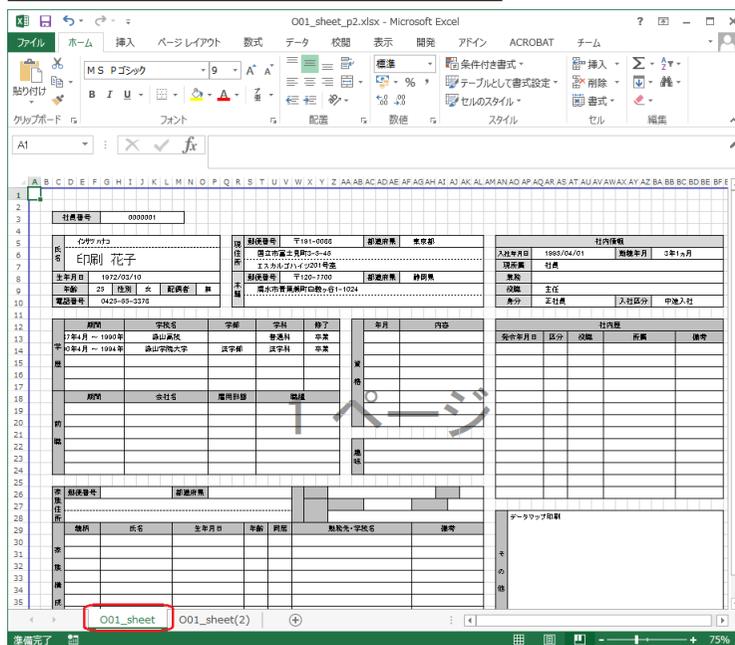
3-1-1. 概要

帳票を出力するとき、1枚のレイアウトから複数のページを出力する改ページ機能があります。

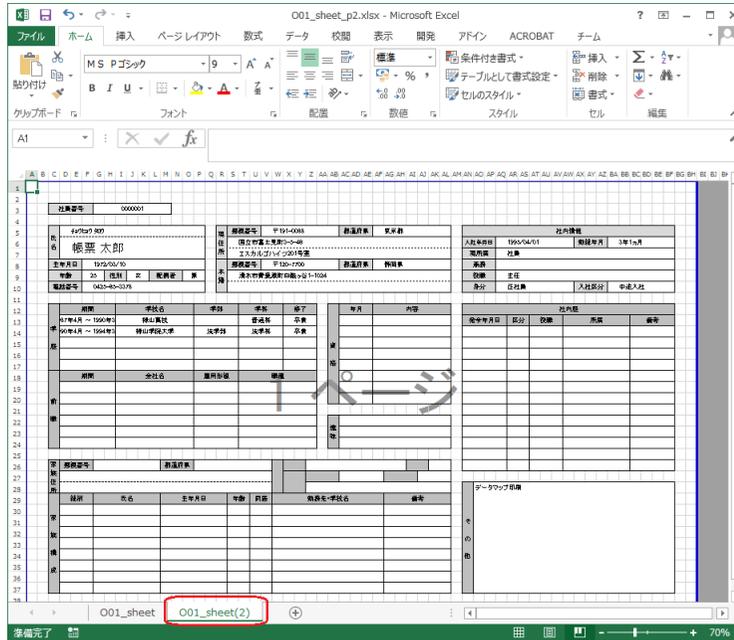
改ページ機能を利用することで、データファイルの内容に応じて複数ページの帳票を出力することができます。

Expage の場合、入力データによって発生した改ページ処理では、新たなシートが追加されます。

図：改ページ処理によるシートの追加（1ページ目）



図：改ページ処理によるシートの追加（2 ページ目）



3-1-2. 改ページの設定方法

入力データソースが CSV 型もしくは TXT 型の帳票の改ページを実現する方法は以下の通りです。

- ・改ページコードによる改ページ
- ・改ページ文字による改ページ
- ・行数による改ページ

上記の設定方法の詳細は、「3.5: 改ページとフォームの切り替え」の「改ページ」をご覧ください。

<< 注意 >>

フォームファイルタイプの資源ファイルの改ページとは異なり、テーブルオブジェクトを使用している可変明細帳票においても、上記の方法で改ページを設定します。

入力データソースが XML 型を使用したときの改ページの設定方法は上記と異なります。XML 型の帳票の改ページ設定については「5. XML での改ページ設定について」を参照して下さい。

入力データソースが DB 型の場合、改ページの設定はできません。

テーブルオブジェクトの「先頭行を見出しに使用」を設定している場合、改ページが発生する度に先頭データが見出しデータとして出力されます。

図：入力データ例

```

見出し1-1,見出し1-2,見出し1-3,見出し1-4,見出し1-5
データ1-1,データ1-2,データ1-3,データ1-4,データ1-5
データ1-1,データ1-2,データ1-3,データ1-4,データ1-5
データ1-1,データ1-2,データ1-3,データ1-4,データ1-5
データ1-1,データ1-2,データ1-3,データ1-4,データ1-5
データ1-1,データ1-2,データ1-3,データ1-4,データ1-5
データ1-1,データ1-2,データ1-3,データ1-4,データ1-5
データ1-1,データ1-2,データ1-3,データ1-4,データ1-5
データ1-1,データ1-2,データ1-3,データ1-4,データ1-5
↑見出し2-1,見出し2-2,見出し2-3,見出し2-4,見出し2-5
データ2-1,データ2-2,データ2-3,データ2-4,データ2-5
データ2-1,データ2-2,データ2-3,データ2-4,データ2-5
データ2-1,データ2-2,データ2-3,データ2-4,データ2-5
データ2-1,データ2-2,データ2-3,データ2-4,データ2-5
データ2-1,データ2-2,データ2-3,データ2-4,データ2-5
データ2-1,データ2-2,データ2-3,データ2-4,データ2-5
データ2-1,データ2-2,データ2-3,データ2-4,データ2-5
データ2-1,データ2-2,データ2-3,データ2-4,データ2-5

```

図：出力結果 (1 ページ目)

見出し1-1	見出し1-2	見出し1-3	見出し1-4	見出し1-5
データ1-1	データ1-2	データ1-3	データ1-4	データ1-5
データ1-1	データ1-2	データ1-3	データ1-4	データ1-5
データ1-1	データ1-2	データ1-3	データ1-4	データ1-5
データ1-1	データ1-2	データ1-3	データ1-4	データ1-5
データ1-1	データ1-2	データ1-3	データ1-4	データ1-5
データ1-1	データ1-2	データ1-3	データ1-4	データ1-5
データ1-1	データ1-2	データ1-3	データ1-4	データ1-5

図：出力結果 (2 ページ目)

見出し2-1	見出し2-2	見出し2-3	見出し2-4	見出し2-5
データ2-1	データ2-2	データ2-3	データ2-4	データ2-5
データ2-1	データ2-2	データ2-3	データ2-4	データ2-5
データ2-1	データ2-2	データ2-3	データ2-4	データ2-5
データ2-1	データ2-2	データ2-3	データ2-4	データ2-5
データ2-1	データ2-2	データ2-3	データ2-4	データ2-5
データ2-1	データ2-2	データ2-3	データ2-4	データ2-5
データ2-1	データ2-2	データ2-3	データ2-4	データ2-5

3-2. マルチフォーム

Expage 用の資源ファイルにおいても、フォームファイルタイプの資源ファイルと同様にマルチフォームを設定することができます。

マルチフォームの詳細は、「3.5: 改ページとフォームの切り替え」の「マルチフォーム」をご覧ください。

なお、Expage の場合、マルチフォームとして設定できるシートは同一 Excel ファイル内に定義されたものに限ります。

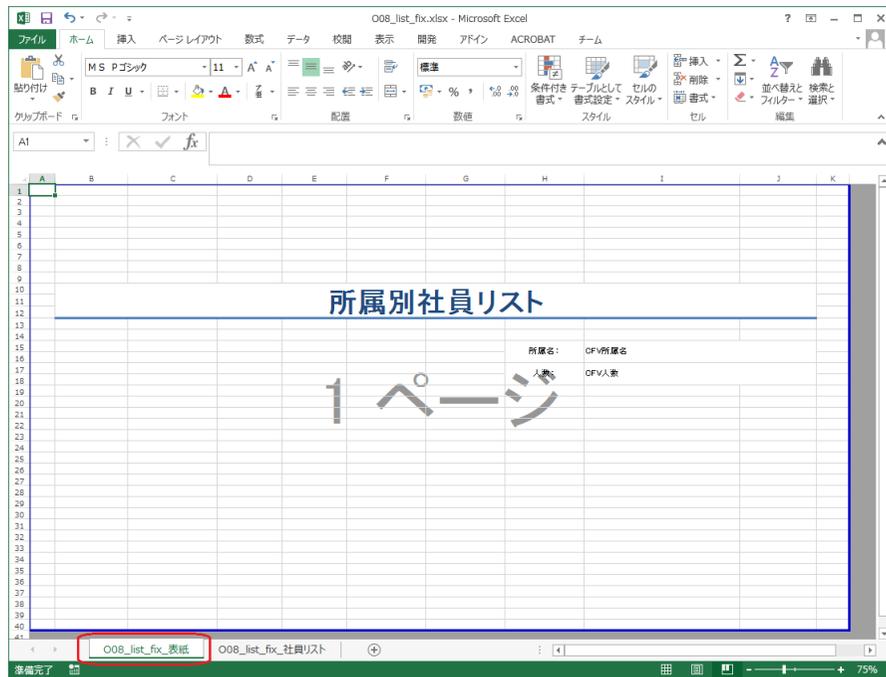
以下に、マルチフォーム（シングルデータ）による Expage 用資源ファイルの作成手順を説明します。

（完成版の資源ファイルは、“帳票資源フォルダ¥sample¥15_Excel 帳票”に保存されています。）

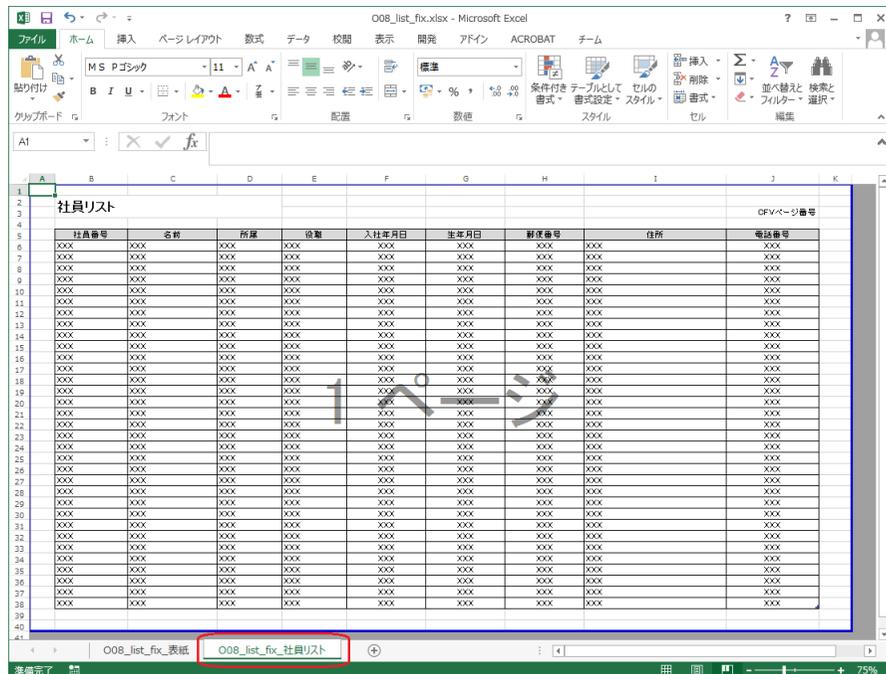
① Excel テンプレートの確認

マルチフォームとして利用する2つのシートを定義した、Excel ファイル“帳票資源フォルダ ¥tut¥expage¥form¥008_list_fix.xlsx”をExcel テンプレートとして使用します。

図：1つ目のフォームに利用するシート「008_list_fix_表紙」



図：2つ目のフォームに利用するシート「008_list_fix_社員リスト」



② 資源ファイルの新規作成

シングルフォームの帳票と同様に、シート「008_list_fix_表紙」をテンプレートに指定して資源ファイルを作成します。

③ 1つ目のユニットのマッピング

データファイル 008_list_fix_cover.csv を使用して変数をマッピングします。

図：シート「008_list_fix_表紙」のマッピング

変数名	種別	属性	行	項目番号	行数	項目数	ヘッダ出力範囲
008_list_fix_表紙	テキスト	第1列	2	1	1	1	
所属名		58					
人数							

④ ジョブユニットの追加

マネージャの [ジョブユニット作成] ボタンをクリックします。
[ジョブユニットの作成] ダイアログが起動しますので、[マルチフォーム] を選択し、シート「008_list_fix_社員リスト」を選択します。

図：ジョブユニットの作成ダイアログ

⑤ 2つ目のユニットのマッピング

データファイル 008_list_fix_member.csv を使用して変数をマッピングします。

図：シート「008_list_fix_社員リスト」のマッピング

変数名	項目番号	行	項目名	行	項目名	行	項目名	行	項目名	行
A1048001	1	1	姓	1	1	1	1	1	1	1
A1048002	2	1	名	1	1	1	1	1	1	1
A1048003	3	1	職	1	1	1	1	1	1	1
A1048004	4	1	部	1	1	1	1	1	1	1
A1048005	5	1	日	1	1	1	1	1	1	1
A1048006	6	1	月	1	1	1	1	1	1	1
A1048007	7	1	年	1	1	1	1	1	1	1
A1048008	8	1	日	1	1	1	1	1	1	1
A1048009	9	1	月	1	1	1	1	1	1	1
A1048010	10	1	年	1	1	1	1	1	1	1

⑥実行確認

データファイル 008_list_fix.csv を選択して、ランタイム実行ダイアログを起動します。[実行ランタイム] の [Expage] を選択して、[プレビュー] ボタンをクリックすると、入力データ 3 ページ分 (3 つのシート) を含んだ Excel ファイルが出力されます。

図：出力結果 (1 シート目)

図：出力結果 (2 シート目)

社員番号	名前	所属	役職	入社年月日	生年月日	郵便番号	住所	電話番号
AI040001	橋本 一郎	第12226	代表取締役	1971/4/1	1951/10/2	115-0027	東京都江東区上野2-2-48	03-3726-1140
AI040002	村上 信孝	第12226	取締役補佐	1974/4/1	1951/2/20	155-0021	東京都江戸川区松島1-12-77	03-3500-0889
AI040005	小山 隆也	第12226	専務取締役	1971/4/1	1951/8/17	193-0049	東京都世田谷区松之下5-28-12	03-3028-8684
AI040009	橋本 隆雄	第12226	取締役	1971/8/1	1952/11/1	154-0075	東京都豊島区池袋6-8-34	03-3608-3189
AI040011	山田 豊	第12226	取締役	1971/12/10	1952/2/23	145-0067	東京都練馬区池袋7-12-25	03-3500-0663
AI040022	山田 竜也	第12226	部長	1972/4/1	1952/8/23	157-0019	東京都北区赤羽3-10-1	03-3430-1506
AI040004	山口 正弘	第12226	部長	1972/4/1	1952/12/31	114-0092	東京都板橋区成増2-13-10	03-3444-6556
AI040006	山口 幸二	第12226	部長	1972/7/29	1953/6/30	154-0060	東京都豊島区西池袋5-5-61	03-3844-4568
AI040001	三輪 秀	第12226	部長	1973/4/1	1952/12/24	145-0025	東京都港区芝浦3-11-33	03-3257-7232
AI040005	三木 隆雄	第12226	部長	1973/4/1	1953/8/10	158-0054	東京都豊島区方町1-23-46	03-3218-1842
AI040006	三木 隆雄	第12226	部長	1973/4/1	1954/4/20	182-0083	東京都千代田区船橋3-20-43	03-3401-1839
AI040007	三木 隆雄	第12226	部長	1973/6/1	1954/8/5	115-0040	東京都豊島区池袋7-6-70	03-3744-6526
AI040008	佐藤 隆江	第12226	新幹線	1972/11/20	1954/10/12	130-0077	東京都文京区小石川18-77	03-3847-8352
AI040002	原田 守代	第12226	新幹線	1974/4/1	1954/10/25	150-0019	東京都練馬区前川3-12-58	03-3720-0204
AI040003	佐藤 隆江	第12226	新幹線	1974/4/1	1954/10/25	132-0065	東京都北区赤羽1-17-39	03-3847-0720
AI050004	佐々木 高博	第12226	新幹線	1975/4/1	1955/11-11	168-0042	東京都練馬区長妻14-5-9	03-3578-8332
AI05-1002	伊藤 光	第12226	新幹線	1982/5/23	1961/11/2	171-0081	東京都杉並区阿佐谷6-17-11	03-3086-1397
AI05-1011	伊藤 光	第12226	新幹線	1982/5/23	1961/5/23	168-0051	東京都杉並区長崎4-4-85	03-3771-0063
AI05-1012	高木 力	第12226	新幹線	1985/5/2	1962/8/7	128-0025	東京都足立区花畑2-26-35	03-3854-4128
AI050009	高木 自英	第12226	部長	1987/5/2	1962/12/1	135-0068	東京都荒川区西尾花2-32-21	03-3468-1842
AI050011	高木 自英	第12226	部長	1988/5/26	1962/12/23	139-0089	東京都中央区日本橋1-11-80	03-3244-4118
AI050012	橋本 隆雄	第12226	部長	1988/5/26	1962/7/13	193-0068	東京都品川区中野5-6-8	03-3170-9988
AI050015	高橋 隆夫	第12226	部長	1988/5/7	1982/12/31	148-0054	東京都目黒区目黒幸袋3-7-7	03-3526-9541
AI050017	荒川 久美子	第12226	部長	1990/5/23	1963/2/20	122-0021	東京都武蔵野市西国分寺1-11-18	03-3446-4296
AI050018	江崎 昌利	第12226	部長	1990/5/31	1963/11/4	134-0078	東京都三田区西国分寺2-23-51	03-3489-8012
AI050001	五ノ風 克也	第12226	部長	1990/5/2	1963/8/1	169-0091	東京都多摩市1-11-46	03-3887-7129
AI050002	小池 洋一	第12226	部長	1990/5/18	1964/3/10	142-0047	東京都目黒区野原2-13-10	03-3854-0062
AI050004	吉川 隆雄	第12226	部長	1990/5/12	1964/2/25	152-0021	東京都目黒区上野4-48	03-3518-6414
AI050007	黒川 今日子	第12226	部長	1991/5/16	1964/11/12	121-0080	東京都豊島区南1-11-18	03-3374-1830
AI050009	山田 良典	第12226	部長	1991/5/20	1964/10/21	161-0086	東京都八王子市小瀬町16-16-40	03-3853-0985
AI050010	橋本 一郎	第12226	部長	1991/11/14	1966/6/23	137-0003	東京都練馬区池袋1-15-45	03-3556-7324
AI050011	山田 良典	第12226	部長	1992/5/5	1965/1/11	141-0074	東京都武蔵野市喜多5-23-81	03-3285-0196
AI050013	橋本 一郎	第12226	部長	1992/5/14	1971/10/25	132-0046	東京都府中市2-25-22	03-3643-2790

図：出力結果 (3 シート目)

社員番号	名前	所属	役職	入社年月日	生年月日	郵便番号	住所	電話番号
AI050000	高橋 隆夫	第12226	部長	1992/5/18	1971/3/20	120-0060	東京都練馬区南3-21-5	03-3113-8011
AI050005	橋本 隆雄	第12226	部長	1990/5/19	1971/2/17	119-0055	東京都練馬区南3-21-15	03-3170-5213
AI050007	三輪 祐郎	第12226	部長補佐	1991/5/26	1972/12/21	175-0025	東京都豊島区東葉5-2-42	03-3465-1271
AI050010	吉田 明宏	第12226	部長補佐	1992/5/2	1972/2/23	180-0021	東京都秋川市谷35600	03-3066-2509
AI050011	吉田 明宏	第12226	部長補佐	1993/5/28	1972/11/14	133-0012	東京都小平市南7-4	03-3360-4856
AI050012	原田 隆雄	第12226	部長補佐	1992/5/10	1972/5/21	164-0004	東京都練馬区池袋1-6-33	03-3532-9395
AI050001	高橋 隆夫	第12226	部長補佐	1992/5/28	1973/6/25	145-0052	東京都江川区池田山123	03-3194-8599
AI050003	原田 隆雄	第12226	部長補佐	1992/5/11	1973/5/4	129-0029	東京都江川区西船橋3-18-46	03-3578-9768
AI050004	原田 隆雄	第12226	部長補佐	1992/5/13	1973/11/1	148-0041	東京都江川区松島3-3-85	03-3855-3008
AI050005	原田 隆雄	第12226	部長補佐	1992/5/20	1974/4/19	147-0099	東京都世田谷区松之下3-16-14	03-3922-6017
AI050007	原田 隆雄	第12226	部長補佐	1992/5/22	1974/4/15	111-0077	東京都豊島区中野7-11-30	03-3926-1495
AI050008	吉田 明宏	第12226	部長補佐	1992/5/12	1974/12/1	120-0051	東京都練馬区山崎7-13-40	03-3248-1126
AI050009	高橋 隆夫	第12226	部長補佐	1992/5/7	1974/10/25	165-0055	東京都北区赤羽6-11-51	03-3385-2631
AI050011	加藤 源典子	第12226	部長補佐	1992/5/18	1974/8/23	136-0034	東京都板橋区成増4-6-34	03-3187-7423
AI050014	高橋 隆夫	第12226	部長補佐	1992/5/15	1975/11/1	155-0087	東京都豊島区池袋1-11-17	03-3720-8567
AI050006	高木 自英	第12226	部長補佐	1992/5/3	1975/10/21	169-0040	東京都港区芝浦5-13-40	03-3586-1039
AI050008	加藤 自英	第12226	部長補佐	1992/5/23	1975/3/30	182-0047	東京都豊島区千代田9-23-22	03-3136-9359
AI050006	加藤 自英	第12226	部長補佐	1992/5/26	1975/8/7	135-0028	東京都千代田区船橋18-28-6	03-3442-7327
AI050010	高橋 隆夫	第12226	部長補佐	1992/5/20	1975/1/1	171-0019	東京都豊島区池袋2-24-48	03-3506-1937
AI050012	山田 隆雄	第12226	部長補佐	1992/5/20	1975/12/23	127-0028	東京都文京区小塚113-14-76	03-3589-9269
AI050013	橋本 隆雄	第12226	社員	1992/5/26	1977/3/3	189-0013	東京都練馬区前川4-27-2	03-3736-4830
AI050014	高橋 隆夫	第12226	社員	1992/5/10	1978/5/28	155-0055	東京都豊島区池袋1-20-20	03-3586-6084
AI050019	加藤 源典子	第12226	社員	1992/5/5	1978/6/20	149-0094	東京都豊島区長妻14-12-13	03-3501-0692
AI050001	橋本 隆雄	第12226	社員	1992/5/24	1978/1/24	188-0023	東京都杉並区阿佐谷6-1-13	03-3611-7379
AI050003	橋本 隆雄	第12226	社員	1992/5/21	1978/2/20	165-0021	東京都豊島区池袋1-2-35	03-3512-1185
AI050004	橋本 隆雄	第12226	社員	1992/5/16	1980/4/11	168-0050	東京都足立区梅田1-16-33	03-3100-1025

3-3. マルチデータソース

Excel テンプレートの1シートに対して、複数のデータソースから取得したデータを出力することができます。

マルチデータソースの設定方法はフォームファイルタイプの資源ファイル作成と同じです。詳細は「3.5: 改ページとフォームの切り替え」の「マルチデータソース」をご覧ください。

4. Excel プロパティ設定

4-1. 概要

Expage ランタイムでは、Excel ファイルのプロパティに任意の文字列を設定することができます。Excel ファイルのプロパティは、[ファイル]-[情報]-[プロパティ]-[詳細プロパティ] から確認できます。

設定できるプロパティは以下のプロパティです。

- ・タイトル
- ・サブタイトル
- ・作成者
- ・管理者
- ・会社名

図：Excel ファイル [詳細プロパティ] 画面

YYYYMMDD_expage.xlsx プロパティ

ファイルの情報 ファイルの概要 詳細情報 ファイルの構成 ユーザー設定

タイトル(I): Excel出力

サブタイトル(S): プロパティ設定

作成者(A): Aグループ

管理者(M): 帳票 太郎

会社名(Q): インフォテック株式会社

分類(E):

キーワード(K):

コメント(C):

ハイパーリンクの基点(H):

テンプレート:

すべての Excel ドキュメントの縮小版を保存する(V)

OK キャンセル

4-2. 設定方法

Excel プロパティを設定する手順は以下となります。

1. マネージャを起動します。
2. プレビューモードでジョブを選択し、右クリックメニューの [ジョブプロパティ] をクリックします。
3. ジョブプロパティダイアログの [概要] タブをクリックします。
4. 各テキストボックスにExcel プロパティに設定する文字列を入力します。
5. [OK] ボタンをクリックし、ジョブプロパティダイアログを閉じます。

図：[概要]画面

The image shows a dialog box titled "ジョブのプロパティ" (Job Properties) with a close button (X) in the top right corner. It has two tabs: "全般" (General) and "概要" (Summary). The "概要" tab is selected. The dialog contains five text input fields with the following values:

項目	値
タイトル:	Excel出力
サブタイトル:	プロパティ設定
作成者:	Aグループ
管理者:	帳票 太郎
会社名:	インフォテック株式会社

At the bottom of the dialog, there are three buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "適用" (Apply).

<< 注意 >>

タイトルの初期値にはジョブを作成した時の「帳票名」の値が設定されます。

[概要] タブの各テキストボックスに値が設定されていない場合、出力ファイルにはExcel テンプレートのプロパティ値が設定されます。

Create!Form 11

Excel 出力設定 第4版

発行日	2019年10月
発行者	インフォテック株式会社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25